

## ふたり主治医制(逆紹介)をさらに推進いたします



当院では、登録医の先生方と連携を図りながら「ふたり主治医制」を推進しております。

今般、大原総合病院では、院内全体で「逆紹介推進プロジェクト」を発足し、病状が安定している患者さんや、ご自宅近くの医療機関への通院をご希望される患者さまに対して、積極的に逆紹介をご案内できるよう、医師・看護師・事務職がプロジェクトメンバーとして、逆紹介のためのプロセスを検討・実施しております。

紹介で来院された患者さまならびに、これまで定期的に通院されていた患者さまで、状態が安定し登録医の先生方のご紹介ができる方につきまして、7月から重点的に逆紹介を開始します。

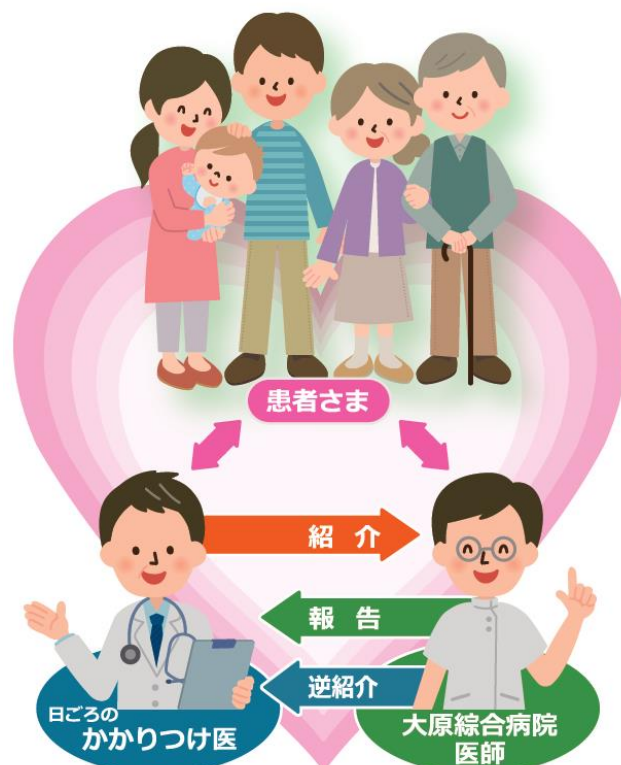
ご登録医の先生方におかれましては、引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### <ふたり主治医制とは>

ご登録医（かかりつけ医）の先生方と当院の医師とが互いに連携しながら、継続的に治療を行うことを目的としております。

日常の健康管理につきましては、かかりつけ医、精密検査・専門的治療が必要な場合や症状が悪化した場合には大原総合病院に「ご紹介」をいただき、治療後に、ご紹介元のかかりつけの先生に「逆紹介」させていただきます、継続しての健康管理をお願いする流れを構築しております。

この連携により、不要な検査や投薬を減らすことができ、患者さまの状態に合わせ、適切な治療を提供することに期待ができます。



# 大原けんこう講座スペシャル

## “楽しいアクティブシニアライフ 延ばそう！健康寿命!!”を開催しました

平成30年6月15日(金)福島市上町の大原記念ホール(上町テラス2階)にて、『第1回大原けんこう講座スペシャル“楽しいライフ 延ばそう！健康寿命!!”』を開催しました。

この公開講座は、福島市の「(有)波恵ダンス」石山 波恵 先生と当財団がタッグを組み、シニア世代を対象として初めて企画されました。事前申込制でしたが、当初定員の50名を大幅に超える150名の申し込みがあり、ホール開設以来最多の参加人数となりました。



初回のゲスト講師は大原総合病院 佐藤 勝彦 院長が務め、整形外科医としての視点から健康寿命を延ばすアドバイスをを行いました。具体的な研究データに基づいた講演はシニア世代の元気を支えるヒントが盛りだくさんの内容で、メモを取りながら聞き入る姿が多く見られました。

続いての石山 波恵 先生による口腔内を意識した講演では、実際に発声したり歌いながらのリズム体操などを行い、滑舌を意識したり指先を使うことで、血流が良くなり代謝が上がる感覚を体験していただきました。

60分間の講座は、参加者の笑い声と笑顔であっという間に時間が経ち、“笑い”の健康効果も感じていただけたセミナーとなりました。

当財団はこれからも市民の皆さまの健康応援活動を推進して参ります。

## Information

平成30年6月12日(火)大原医療センターにおいて消防防災(避難)訓練が実施されました。4階旧第一病棟、4117号室より出火したとの想定のもと、約30名の職員が参加し、模擬患者全員を予定時間内に避難を完了させた後、引き続き、階段での患者搬送訓練も行いました。メーカーによるエアバッグ担架の説明のあと、吉田典行院長をはじめ数名の職員が実際にエアバッグ担架での搬送を体験しました。



平成30年6月15日(金)、大原総合病院6階こどもセンターのプレイルーム「わくわくルーム」で、管理栄養士を目指す学生による「食育実習」を行いました。当院の保育士、管理栄養士が見守るなか「やさいをたべよう！」をテーマに、お子さまとご家族に、紙芝居とペーパーサート(紙人形)を使い野菜の持つ栄養や体にいい理由などを分かりやすくお伝えしました。学生さんが作ったピーマン、ニンジン入りのホットケーキはとても美味しくて、お子さまにもご家族にも喜んでいただき、みなさんに完食いただきました。



### 大原記念財団の理念

#### 人を愛し、病を究める

私たちは、すべての患者さまとご家族のために常に一歩先行く医療を探究し、優しさを持って最善を尽くす医療を実践することにより、地域から信頼される病院を目指します。

制作 大原総合病院 総合患者支援センター  
発行者 一般財団法人大原記念財団  
理事長 平子 健  
電話 024(526)0371 ダイヤルイン  
FAX 024(526)0935  
代表 024(526)0300  
住所 福島市上町6番1号

### 大原記念財団職員行動規範 10カ条

私たちは、

1. 医療安全を確立し、安心と信頼を獲得します。
2. 命の尊厳を深く理解し、患者さまの権利を尊重します。
3. 優しさを持ち、気づきの医療を実践します。
4. 人間性豊かな医療人となるよう、常に自己研鑽します。
5. 新しいことへの挑戦し、質の高い医療を創造します。
6. 医療人としての誇りを持ち、如何なる時も最善を尽くします。
7. 医療情報の共有と活用を促進し、得られた情報は厳格に管理します。
8. 地域社会に支えられていることを認識し、医療連携を推進します。
9. 相互に敬意を払い、連携を密にして組織的に行動します。
10. 未来への発展のために、健全経営を目指して努力します。